

今後の管理のポイント

- ✓ 有効茎数に達したほ場が多くなりましたが、生育の遅れているほ場もあります。ほ場で茎数を確認の上、中干し時期を決定しましょう。
- ✓ いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。
- ✓ 雑草防除を徹底し、斑点米カメムシ類を抑えましょう。

1. 気象経過

6月第2半旬以降の気温はかなり高くなりました。第2、4半旬の日照時間はかなり多くなりました。第4半旬にはまとまった降雨がありました。東北南部は6月11日に梅雨入りしました（平年6月12日）。

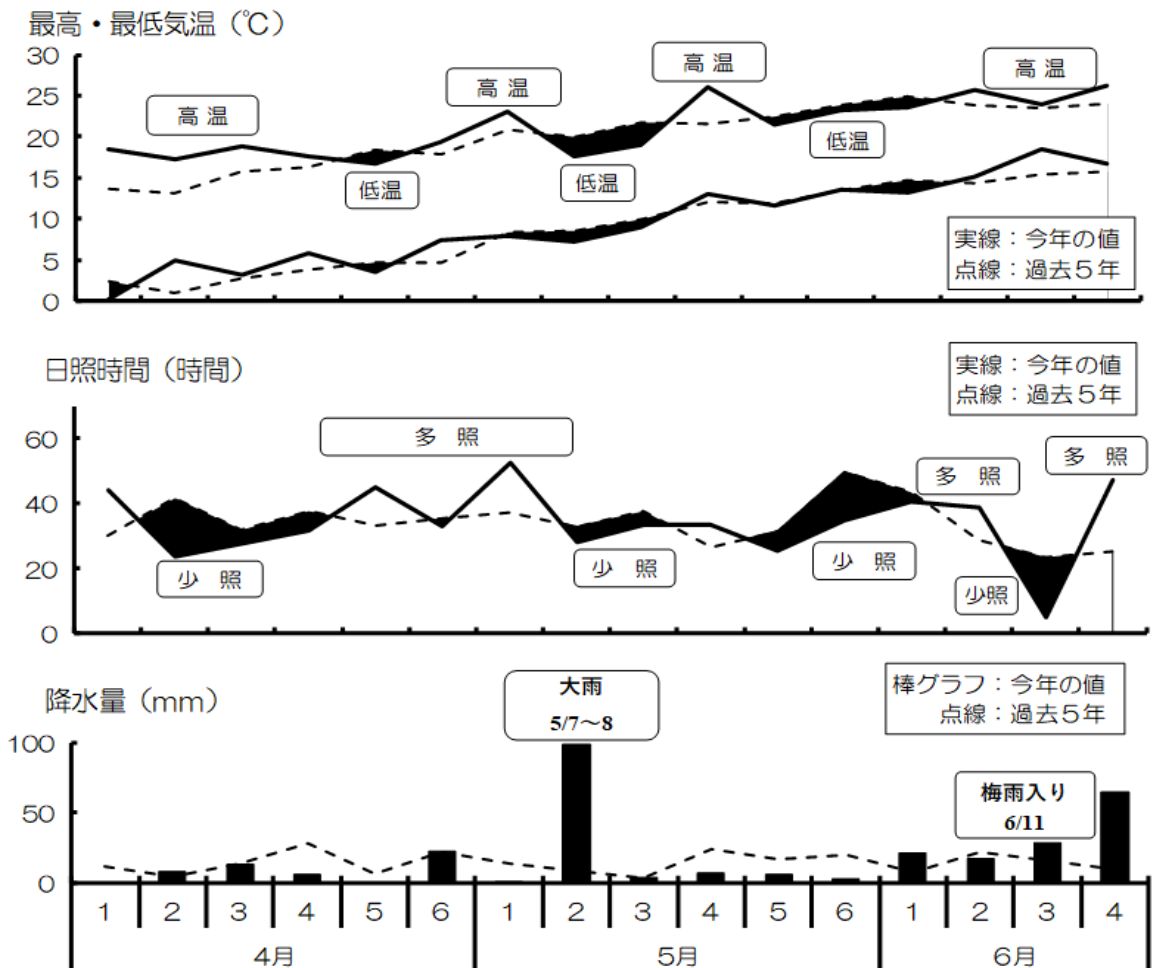


図1 4～6月の気象（古川アメダス） ※過去5か年平均値との比較

2. 生育概況（6月20日現在）

生育は、5月第5半旬から6月第1半旬までの低温少照の影響で停滞していましたが、6月第2半旬以降は高温、概ね多照で経過したことから、回復傾向です。草丈、茎数、葉数及び葉色とも平年を上回り、目標茎数に達したほ場が多くなりました。一方、晩期移植や植え傷みが発生したほ場の一部では回復傾向であるものの、茎数、葉数及び葉色がまだ平年値を下回っています。

表1 生育調査結果

品種名	地区名	田植・播種月日	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月5日 (+1)	44.9 (114%)	486 (101%)	9.1 (+0.5)	47.3 (+4.6)	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月17日 (+1)	35.5 (103%)	252 (72%)	8.4 (+0.3)	41.8 (-0.4)	
ササニシキ	大崎市古川	5月5日 (-4)	38.8 (113%)	376 (106%)	8.0 (-0.4)	44.4 (+3.3)	
つや姫	色麻町四竈	5月4日 (0)	40.4 (115%)	437 (80%)	8.6 (-0.4)	44.3 (-3.9)	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月12日 (-3)	46.0 (127%)	451 (197%)	8.7 (+1.2)	47.1 (+5.0)	
金のいぶき	大崎市三本木	5月11日 (-3)	42.3 (136%)	435 (133%)	8.8 (+1.3)	47.1 (+3.6)	前年比・差
ゆみあすさ	加美町平柳	5月21日 (-)	38.0 (-)	178 (-)	6.9 (-)	35.9 (-)	新規
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月23日 (0)	25.0 (92%)	118 (147%)	6.8 (+0.9)	38.3 (+0.8)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月17日 (0)	32.0 (91%)	265 (62%)	7.8 (-0.5)	40.5 (+0.8)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月3日 (-2)	30.9 (117%)	282 (94%)	5.5 (-1.1)	42.2 (+1.0)	
平均 (平年値のあるほ場のみ)		5月11日 (-1)	39.4 (110%)	366 (108%)	8.4 (+0.2)	44.2 (+2.7)	

※平年比・差は前5か年（平成30年～令和4年）の平均値との比較

3. 今後の管理

1) 水管理 中干しは生育状況(茎数)を確認し、有効茎数に達したら行う

● 中干し

中干しは、有効茎数（表2参照）に達したら行いますが、地域や移植時期で生育差が大きいため、茎数をほ場で確認の上、実施時期を決定しましょう。早すぎる場合は茎数・穂数不足となります。また、生育が平年並みのほ場では、中干しが遅れ、分けつ数（穂数）が過剰になると、籾へ十分に栄養が行きわたらず、白未熟粒の発生といった品質低下を招く原因となります。

中干しの主な効果

➤ 無効分けつの抑制

稲の窒素吸収が制限され、無効分けつの発生を抑えます。

➤ 耐倒伏性の向上

土壌を締め、下位節間の伸長が抑えられることで倒伏しにくくなります。

➤ 根の活力向上

土壤中に酸素を供給することで根腐れの原因となる有害物質を抑制し、根の活力を高めます。

● 走り水

中干し終了後は走り水で飽水管理を行い、徐々に間断かん水に切り替えることで、根の活力維持に努めましょう（急に湛水状態にすると土壤の還元が進み、根が傷みます）。

有効茎数の目安

✓ 有効茎数の目安

ひとめぼれ 410本～460本/㎡

ササニシキ 480本～510本/㎡

だて正夢 350本～400本/㎡

✓ 右表の「1株当たりの有効茎数」は、「有効茎数(本/㎡)÷田植え時の設定株数(株/坪)÷3.3」により算出。

✓ あくまで参考値ですので、中干しの判断はほ場全体の生育状況を見ながら行いましょう。

表2 1株当たりの有効茎数(本/株)の目安

		田植え時の設定株数(株/坪)		
		50	60	70
有効茎数 (本/㎡)	400	26	22	19
	450	30	25	21
	500	33	28	24

○ 水深 ←—— 間断かん水 ——→ ←—— 中干し ——→ 走り水 → 間断かん水 ——→

○ 効果 根の活力維持, 土壤の酸素供給 過剰分げつの抑制, 根の活力維持, 倒伏抑制



図2 今後の水管理

2) 病虫害防除

● いもち病

- いもち病は、葉では円形～楕円形で灰緑色、水浸状の病斑を生じた後に、ひし形で中央部灰白色等の病斑が生じます。
- 近年は、いもち病による目立った被害は少なくなっていますが、湿度の高い曇雨天が続くことで発生しやすい条件となります。
- ほ場を観察し、いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。本田で確認された場合は直ちに茎葉散布剤を散布しましょう。
- 葉いもちの感染好適日は宮城県病虫害防除所のHPで確認できます。予防防除等を検討される際の参考にしてください。



いもち病

HP <<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>>

● 斑点米カメムシ類（雑草防除）

- 斑点米カメムシ類の発生を抑えるため畦畔の草刈りや水田の雑草防除を行いましょう。
- 畦畔・牧草地などの草刈りは水稻出穂期10日前までに行いましょう。
- アカスジカスミカメは、雑草のイヌホタルイを利用して水田内で繁殖します。イヌホタルイが発生している水田では、雑草防除を徹底しましょう。

※ アカスジカスミカメは宮城県で発生する斑点米カメムシ類の最重要種であり、管内に発生する斑点米カメムシ類のおよそ9割を占めます。



アカスジカスミカメ（成虫）

● 紋枯病

- 紋枯病は葉や葉鞘にて、周縁部が緑褐色や褐色、内部は灰緑色や灰白色の楕円形の大きな病斑が生じます。
- 紋枯病は前年の病斑上に形成された菌核がほ場に残り、翌年の伝染源となる土壌伝染性の病害です。
- 前年発生した水田では、穂ばらみ期に水面施用剤の施用、もしくは穂ばらみ期から出穂期の茎葉散布剤の施用を検討しましょう。
- 特に、気温が22～23℃を超え、株間湿度が高くなると発生しやすくなります。



紋枯病

◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中（3月1日～6月30日）◆◆◆◆◆

農業機械作業による死亡事故割合が高い状況を踏まえ、①ほ場周辺の危険箇所の確認・改善及び危険回避行動の実践、②シートベルトとヘルメットの着用、③トラクターへの安全フレーム・安全キャブの使用の呼びかけを行います。

重点推進テーマ 「徹底しよう！農業機械の転落・防止対策」

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」

東北地方 1 か月予報
(6月24日から7月23日までの天候見通し)

令和5年6月22日
仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、高い確率60%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	30	60
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	40	30	40

<気温経過の各階級の確率(%)>

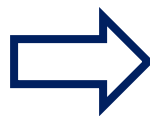
		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	10	30	60
3~4週目	東北地方	30	30	40

水稻乾田直播情報

乾田直播栽培の生育調査をしました。6/19調査結果は草丈が29.2cm、茎数が198本/m²、葉数5.2枚、葉色値が36.9となっています。概ね順調に生育しています。雑草については、茎葉処理の除草剤の効果により変色・枯死しつつあります。



6/8の生育状況



6/19の生育状況